

## 第9期介護保険事業計画（R6～R8）の施設整備について

### （1）方針

「施設から在宅への転換」、「地域密着型サービスの普及」の方針を引き続き推進し、介護が必要になっても住み慣れた自宅や地域で必要なサービスが受けられるよう、各種調査結果を反映し、給付と負担のバランスに考慮した施設整備計画とする。

### （2）第9期の整備数

介護保険事業計画において、高齢者人口がピークを迎える2040年を見据えた中長期的なサービス量見込みを算出する必要があり、基盤整備においても同様に、中長期的な人口動態や地域の特性を見据え、既存施設等の活用も踏まえながら以下のように整備する。

### 【施設サービス】

#### ①介護老人福祉施設、介護老人保健施設、介護医療院

：整備しない（整備意向法人：なし）

施設サービスは、介護サービスの中でも介護者負担をより軽減することができる重要なサービスであるが、本市の施設整備率は他都市に比べて高いため、給付費を押し上げ、保険料上昇の要因になっていることを踏まえて、第9期中に新たな整備は行わない。

#### 【参考】介護施設等の整備状況（中核市比較）

	介護老人福祉施設	地域密着型介護老人福祉施設	介護老人保健施設	介護医療院	介護療養型医療施設	介護保険4施設合計
1位	水戸市 (645床) 31施設	甲府市 (255床) 17施設	呉市 (565床) 17施設	高知市 (279床) 13施設	八戸市 (97床) 4施設	呉市 (1,245床)
2位	福井市 (572床) 21施設	高崎市 (210床) 30施設	秋田市 (435床) 13施設	富山市 (177床) 9施設	函館市 (60床) 3施設	福井市 (1,142床)
3位	鳥取市 (567床) 16施設	下関市 (206床) 19施設	鳥取市 (420床) 12施設	鳥取市 (135床) 5施設	長野市 (51床) 2施設	鳥取市 (1,128床)
4位	横須賀市 (560床) 21施設	山形市 (200床) 17施設	いわき市 (409床) 14施設	下関市 (130床) 7施設	旭川市 (39床) 2施設	富山市 (1,121床)
5位	松江市 (537床) 19施設	久留米市 (168床) 19施設	富山市 (409床) 17施設	松江市 (118床) 2施設	青森市 (39床) 2施設	下関市 (1,107床)
	22位 富山市 (425床) 26施設	19位 富山市 (86床) 14施設			11位 富山市 (24床) 2施設	
6.2中核市平均	398床	69床	269床	35床	11床	784床

※1 【出典】厚生労働省「令和3年介護サービス施設・事業所調査」(令和3年10月1日現在)および総務省「住民基本台帳に基づく人口、人口動態及び世帯数調査」(令和4年1月1日現在)

※2 介護療養型医療施設は令和6年3月31日までに廃止し、医療院等へ転換となる。

## 【居宅サービス】

### ②特定施設入居者生活介護：40床程度（整備意向法人：なし）

有料老人ホーム等で、入浴、食事などの日常生活上の支援や機能訓練を包括的に提供するサービス。

近年増加している有料老人ホーム（R2：37施設1，103戸→R5：56施設1，691戸）、サービス付き高齢者住宅（R2：44施設1，283戸→R6：49施設1，361戸）等の既存施設を活用するため、新たな施設整備を行わないこと、要介護度は低いが施設サービスが必要な方への受け皿としての活用も見込めることなどから、第9期においては、第8期における公募目標数の不足分を考慮し、40床程度を整備する。

## 【地域密着型サービス】

### ③定期巡回・随時対応型訪問介護看護

：2か所（整備意向法人：なし）

1日複数回の短時間の定期巡回訪問と、利用者からの通報により応対・訪問を行うサービスで介護だけでなく看護も行うサービス。

地域包括ケアシステムの中核を担うサービスであり、高齢化に伴い医療と介護の両方が必要な高齢者の増加が予想されるため、引き続き整備を推進する。

第9期においては、第8期における公募目標数の不足分を考慮し、2か所を整備する。

### ④夜間対応型訪問介護：整備しない（整備意向法人：なし）

定期巡回・随時対応型訪問介護看護の夜間版で、介護サービスのみ。

定期巡回・随時対応型訪問介護看護に同様のサービスが含まれることから、第9期中に新たな整備は行わない。

⑤ **認知症対応型通所介護：整備しない（整備意向法人：なし）**

認知症の方を対象として、デイサービスセンターに通所し、入浴、排せつ、食事等の介護、その他の日常生活上の世話や機能訓練等を行うサービス。

今後も認知症高齢者の増加が見込まれるものの、事業所休止数が増えているとともに、利用者数が減少傾向にあることや、認知症の方でも認知症対応型ではない通所介護事業所の利用を希望される方も多数いることから、第9期中に新たな整備は行わない。

⑥ **小規模多機能型居宅介護：1か所（整備意向法人：なし）**

利用者の選択に応じて、施設への通いを中心として、短期間の宿泊や自宅への訪問を組み合わせたサービス。

地域包括ケアシステムの中核を担うサービスであり、中重度者の多様なニーズに応じるサービスであることから、引き続き整備を推進する。

第9期においては、第8期における公募目標数の不足分を考慮し、1か所を整備する。

⑦ **看護小規模多機能型居宅介護（複合型サービス）**

：**3か所（整備意向法人：1法人）**

小規模多機能型居宅介護サービスに看護師による訪問看護サービスを追加し提供するサービス。

地域包括ケアシステムの中核を担うサービスであり、高齢化に伴い医療と介護の両方が必要な高齢者の増加が予想されるため、引き続き整備を推進する。

第9期においては、第8期公募実績数を考慮し、第8期公募数と同数の3か所を整備する。

⑧ 認知症対応型共同生活介護：2か所（4ユニット）

（整備意向法人：2法人）

認知症の利用者を対象に、その共同生活を営むべき住居において、入浴、排せつ、食事等の介護その他日常生活の世話及び機能訓練を行うサービス。

今後も認知症高齢者の増加が見込まれるため、第9期においては、第8期公募数と同様に2か所を整備する。

⑨ 地域密着型介護老人福祉施設：整備しない（整備意向法人：なし）

入所定員29人以下の小規模特別養護老人ホーム。

本市の施設整備率は他都市に比べて高いため、給付費を押し上げ、保険料上昇の要因になっていることを踏まえて、第9期中に新たな整備は行わない。